

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質問者	質問事項・質問の要旨	答弁を 求める者
1	関 美香	1 有害鳥獣対策について (1) 昨今のクマ出没状況と影響について伺う。 (2) クマ被害対策における、ドローンの活用について考えを伺う。 (3) ガバメントハンター配置に対する考えを伺う。 (4) クマ被害対策における「予測型管理」について見解を伺う。 (5) 有害鳥獣対策における、ジビエなど有効活用という視点に対する見解を伺う。 2 中之条ガーデンズについて (1) 今後、上信自動車道の完成を鑑み、入場者数の確保する上で、観光施設としてのブラッシュアップが必要と考えるが見解を伺う。 (2) 「夏季ショップ・食堂フリー利用プラン」の目的と内容、また、今後の展開について考え伺う。 (3) 「わんわんウイーク」の内容と今後のペット入園について考えを伺う。 3 子育て支援について (1) 長期休暇中の子どもの居場所づくりの取り組みについて伺う。 (2) 共働き家庭の増加に伴い、長期休暇中の子ども居場所づくりの充実が必要と考えるが見解を伺う。 4 教育環境について (1) 学校現場では、より専門的かつ継続的な支援が求められていると認識しているが、実態をどのように把握しているか。 (2) 困り感を持つお子さんの保護者に対する相談体制について伺う。 (3) 支援や困り感を持つ児童生徒の多様化は、今後も続いていくと考えられ、きめ細やかな支援の充実が求められるが見解を伺う。 ※質問時間 60分	町長 町長 町長 教育長 教育長・町長

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
2	佐藤 力也	1 外丸町政4年間の総括と今後の町づくりについて (1) 4年間の成果と課題について 町長就任当初、「共創のまちづくり」を掲げ、町民が安心して暮らせる町づくりにご尽力され、成果を上げてきたところと考えておりますが、子育て支援、そして、観光をはじめとする商工業、農林業など、これまでの施策に対しての手応えはどうだったか。そして次の4年間で、群馬リハビリテーションセンターの移転問題、そして、新たに建設予定のごみ処理場（一般廃棄物処理施設）など当町にとって重要な課題を含め、どのように取り組んでいかれるおつもりか町長の見解を伺います。 (2) 各分野における今後の取り組みについて ①子育て支援について ・おたふくかぜ予防接種費用助成拡充について ・道の駅たけやま「ぼうけん砦」撤去に伴う今後の対応について ・学校給食への無農薬食材導入について ・妊婦への無農薬米支給について ②観光、商工分野について ・中之条ガーデンズの運営について ・四万温泉協会からの要望への対応について - ア 駐車場問題(有料化を含む) - イ 新たな観光スポット難 - ウ 清流の湯 ・中之条町商工会からの要望への対応について - ア 事業継続補助金の拡充 - イ 補助金交付事業者の事後調査 ③農業分野について ・農業者支援について ・熊対策について ・農業担い手受け入れ協議会について ・有機農業支援について ※質問時間 60分	町長 町長・教育長

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質問者	質問事項・質問の要旨	答弁を 求める者
3	割田三喜男	1 共創のまちづくりについて (1) 本町の農山村の地域づくりについて、基本的な理念と将来ビジョンをどのように考えているか。 (2) 農村型地域運営組織の推進にあたり、役場の各部署が縦割りを排し、効果的に連携・協力して農業と地域社会を維持発展させる取組をどのように進めてきたか。 (3) 「むらおこし」から「むらのこし」、そして「むらおさめ」「むらみつめ」へと至る集落の縮小と変容的受容（撤退学の視点等）について、町としてどう考えているか。 (4) 住民主体の新しい地域をつくるため、行政と地域をつなぐ中間支援組織（機能）が重要としているが、その具体的なスケジュールと人材確保策はどうか。 (5) 各地域で生活支援体制など多機能型拠点の整備が急務である中、地域の総合計画、地域の拠点施設、組織体制、および活動財源の手当てなど不十分である。今後の具体的な整備行程はどうか。	町長
		2 地域公共交通計画について (1) 本年5月に新たに策定された「中之条町地域公共交通計画」における、主な特徴は何か。 (2) 既存の公共交通の概念にとらわれない、本町における「新たな移動手段」の導入見込みはどうか。 (3) 運転免許証を返納した高齢者等の移動手段として、地域組織（地域運営組織等）が主体となる「助け合い移送サービス」が全国的に導入されているが、本町における検討状況と支援策はどうか。 (4) 群馬県が令和3年10月に策定した「新たな移動手段の手引き」について、本町ではこの知見をどのように検討し、今後の具体的な施策にどう反映させていく方針か。	町長
		3 森林環境譲与税と森林経営管理制度等について (1) 前年度決算における「森林環境譲与税」の歳入・歳出の状況、および基金への積立状況と具体的な使途はどうか。 (2) 町へ森林経営管理を委託したいと希望する町民が多い中、本町における森林経営管理制度の進捗状況と、直面している課題は何か。 (3) 県が開設した「ぐんま森林経営管理サポートセンター」の知見や支援を、本町として今後どのように活用していく方針か。 (4) 木材活用センターに係る前年度決算における歳入・歳出の詳細と、これまでの運用に対する総括（費用対効果等）はどうか。 (5) 木材活用センターのさらなる政策効果を高めるための今後の運用改善策はどうか。 ※質問時間 60分	町長

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
4	原沢 香司	1 これからの自治体運営について (1) 1990年代後半から続く「地方行革」により、自治体の業務はどのように変化してきているか。 (2) 今後自治体はどのようにして住民福祉の増進をはかっていくべきと考えるか。 2 地域経済の活性化について (1) 「中之条町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づく具体的施策の内容はどのようなものか。 (2) 定額支援や資金繰りへの支援、国保税や後期高齢者保険料の引き下げなど中小業者への直接支援を行うべきと考えるが、町長の見解は。 (3) 中小企業の実態を把握し、基本条例を実効性のあるものにするために企業者・経済団体・金融機関・行政でつくる懇話会の設置を提案する。 (4) 町が発注する公共事業や業務委託のうち、町内事業者が受注している割合は。 (5) 町が発注する公共事業や業務委託などの契約において、そこで働く労働者の適正な賃金（労働者報酬下限額）や労働環境の確保を受注者に義務付けているか。 (6) 公契約を適正・公正に運用し、地域企業の活性化を図るうえで「公契約条例」を制定すべきと考えるが、町長の見解は。 (7) 行政職員の安定雇用が公共を守り地域経済の活性化につながると考えるが、町長の見解は。 (8) 上記の観点から会計年度任用職員の正規雇用化や業務委託の直営化が有効と考えるが、町長の見解は。 3 自然保護と活用の今後について (1) 野反湖の高山植物へのニホンジカによる食害の被害実態は。 (2) 上記への対策は進んでいるのか。 (3) 国立公園である野反湖の遊歩道を町が整備しているいわれは。 (4) 国立公園の整備事業に対する国や県の補助事業は活用されているのか。 (5) 野反湖への来訪者数や白砂山登山者数のこの10年間の推移は。 (6) 町の有する自然環境の保護と活用を進めるうえで、今後肝要となる点はなんと考えるか。 (7) 自然環境保護のための持続可能な財源として、入山料や駐車代金の徴収を検討すべきと考えるが町長の見解は。 (8) 行政・地元事業者・地域住民・NPO・ボランティアなどが一体となった「地域協議会」を組織し、遊歩道の点検や修繕を分担・協働していく体制を構築すべきと考えるが町長の見解は。 ※質問時間 60分	町長 町長 町長

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質問者	質問事項・質問の要旨	答弁を 求める者
5	山田みどり	1 人口対策と町づくりについて (1) 人口減少による影響はすでに出始めているが、今後想定されることは。 (2) 中之条町人口ビジョンには、将来の人口目標を2050年に9,600人程度維持とあるが、対策の内容はこれまでの取り組みで効果を得ていることは。 (3) 町職員の雇用状況、男女比率と管理職の男女比率について (4) 働きやすい職場環境の整備は行政サービスにもつながるがどのように進めていくのか。 2 幼児教育について (1) 少子化だからこそ、きめ細やかな教育が必要であるが、保護者のニーズの変化や保育士の雇用や教育環境の整備についてどのように考えるか。 ※質問時間 45分	町長 町長

令和8年9月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
6	福田 弘明	1 高齢者の移動手段について伺う 高齢者が自分で移動できる手段をできるだけ長きに渡り確保することは高齢者の充実した人生をおくるため、また社会参加による町の活性化にもつながる大切な要件であると思います。高齢者が自分で移動できる手立ての手助けになるような政策について町長はどのように認識しておられるのかまた、どのような施策が行われているか伺うとともに合わせて提言させていただきます。 (1) 町長の認識、現在行われている施策について (2) 運転危険薬について 服用している薬についての注意喚起を (3) ドライブシュミレーターの活用について 高齢者の事故の削減を目的として、運転寿命延伸を支援するための活用を (4) サポートカー限定免許対応自動車購入に補助を (5) 特定原動機付自転車の活用について 2023年7月に導入された原動機付自転車の新区分で、電動キックボードや小型のペダルなし電動バイクなどが該当しますが、最近この区分の中で4輪や三輪で安定感があり屋根や荷物も運べるものが商品化されてきましたこれの普及について伺う ※質問時間 60分	町長